

平成28年1月19日

平成27年度〔第19回〕文化庁メディア芸術祭 受賞作品展の開催について

文化庁では、平成9年度より文化庁メディア芸術祭を実施し、優れたメディア芸術作品を顕彰しております。このたび、平成27年度〔第19回〕文化庁メディア芸術祭の受賞作品を展示・上映する受賞作品展を開催いたしますので、お知らせいたします。

1. 概要

文化庁では、メディア芸術の創造とその発展を図るため、アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門において優れた作品を顕彰するとともに、受賞作品の鑑賞機会を提供する「文化庁メディア芸術祭」を平成9（1997）年度より開催しています。

今年度〔第19回〕の受賞作品展では、世界87の国と地域から過去最多となる4,417作品の応募より選ばれた各部門の受賞作品（大賞、優秀賞、新人賞）と功労賞受賞者の功績等をご紹介します。

2. 平成27年度〔第19回〕文化庁メディア芸術祭 受賞作品展

会期：平成28年2月3日（水）～2月14日（日）

会場：国立新美術館（東京都港区六本木7-22-2） ※2月9日（火）休館

10:00～18:00 金曜は20:00まで ※入場は閉館の30分前まで

TOHO シネマズ 六本木ヒルズ（東京都港区六本木6-10-2

六本木ヒルズけやき坂コンプレックス内） 他

※開館時間、休館日は会場によって異なります。

入場料：無料 ※全てのプログラムは参加無料です。

主催：文化庁メディア芸術祭実行委員会

<http://festival.j-mediaarts.jp/>

3. 報道関係者向け内覧会

※御出席の場合、別途返信状に必要事項を御記入の上、1月29日（金）までにFAXにて御返信ください。

報道関係者向け内覧会

日時：平成28年2月2日（火）13:30～15:00

会場：国立新美術館〔2階 企画展示室2E〕

※内覧会は17:00まで開場しております。（入場は30分前まで）

※詳細については、文化庁メディア芸術祭事務局広報担当（hilo Press 内）まで御連絡ください。

＜広報問合せ先＞ TEL：03-5577-4792 FAX：03-6369-3596

＜担当＞ 文化庁文化部芸術文化課支援推進室メディア芸術交流係
支援推進室長 石垣 鉄也（内線 2858）
支援推進室長補佐 田中 智雄（内線 2062）
メディア芸術交流係長 横尾 由美子（内線 2895）
電話：03-5253-4111（代表）



平成27年度〔第19回〕文化庁メディア芸術祭 メディア芸術の“いま”を感じる受賞作品展、いよいよ開催 —全受賞作品の展示と多彩なプログラムを実施—

このたび、文化庁メディア芸術祭実行委員会は「平成27年度〔第19回〕文化庁メディア芸術祭受賞作品展」を2016年2月3日(水)から2月14日(日)までの12日間、東京・六本木の国立新美術館を中心に開催します。本展では、アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門で世界87の国と地域から過去最多となる4,417の応募作品より選ばれた全受賞作品と功労賞受賞者の功績等を紹介します。厳正な審査で選ばれた今年度を代表するメディア芸術作品の数々と、国内外の多彩なクリエイターやアーティストが集う様々な関連イベントを通じて、メディア芸術の“いま”を映し出します。



昨年度〔第18回〕文化庁メディア芸術祭 受賞作品展の様子

■平成27年度〔第19回〕文化庁メディア芸術祭受賞作品展 開催概要

■会期 2016年2月3日(水)～2月14日(日)

■会場 国立新美術館(東京都港区六本木7-22-2)※2月9日(火)休館

10:00～18:00 金曜日は20:00まで ※入場は閉館の30分前まで

TOHOシネマズ 六本木ヒルズ(東京都港区六本木6-10-2 六本木ヒルズけやき坂コンプレックス内)
2月6日(土)、2月7日(日)、2月11日(木・祝)のみ開催

スーパー・デラックス(東京都港区西麻布3-1-25 B1F) 2月3日(水)、2月4日(木)のみ開催

セルバンテス文化センター東京(東京都千代田区六番町2-9) 2月4日(木)のみ開催

※開館時間は会場によって異なります。

■入場料 無料 ※全てのプログラムは参加無料です。

■主催 文化庁メディア芸術祭実行委員会

■フェスティバルサイト <http://festival.j-mediaarts.jp>

※関連イベントの申込方法はプログラムによって異なります。詳細はフェスティバルサイトで御確認ください。

広報問合せ先

文化庁メディア芸術祭事務局 広報担当[hilo Press内] 鎌倉・土井・伊藤

Email:jmaf19-pr@hilopress.net Tel:03-5577-4792 Fax:03-6369-3596 ※受付時間:平日10時～18時

〒101-0047 東京都千代田区千代田1-18-11-905

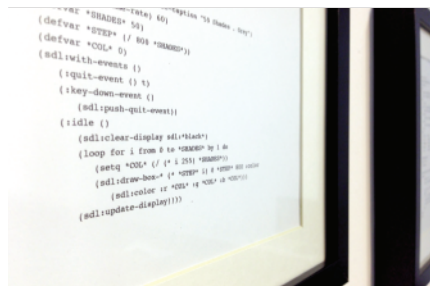


1. 展示 会場：国立新美術館〔2階 企画展示室2E〕

アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガ。多彩な表現に出会う12日間。
国立新美術館の展示室では、4部門の受賞作品と功労賞の功績を一堂に展示します。インスタレーションやグラフィック、映像作品にくわえ、ゲーム、ガジェット等の体験型作品も展示します。また、エンターテインメント部門大賞『正しい数の数え方』を毎日上演します。さらに、アニメーションやマンガ作品を貴重な関連資料とともに紹介します。

注目の展示作品！

アート部門



© 2015 Bryan Wai-ching CHUNG

大賞

フィフティ シェイズ オブ グレイ

『50. Shades of Grey』 グラフィックアート

チュン・ワイチン・ブライアン

CHUNG Waiching Bryan [英国]

プログラミング言語を使用した、コンセプチュアルであると同時に視覚的な作品で、額装した6枚のシートで構成されています。これまでに開発されたさまざまなプログラミング言語が盛衰してきたさまを可視化した作品です。

トーク・デモンストレーション会場：国立新美術館〔2階 企画展示室2E〕 2月3日(水) 10:30～10:50
トーク会場：国立新美術館〔3階 研修室A・B〕 2月5日(金) 18:30～19:30(要事前申込み)

優秀賞

ウルトラオ ビズム

『Ultraorbism』メディアパフォーマンス

マルセリ・アントゥネス・ロカ

Marcel·lí ANTÚNEZ ROCA [スペイン]

サモサタのルキアノスの『本当の話』を、作者の独創的な世界観によって展開させたメディアパフォーマンス作品。スペインで上演され高評価を得た本作を2月4日(木)には「セルバンテス文化センター東京」にて上演します。日本初公開です。是非御参加ください。

会場：セルバンテス文化センタ 東京 2月4日(木) 15:00～16:00、18:00～19:00

※申込み方法はフェスティバルサイトでご確認下さい。



© Marcel·lí Antúñez Roca

エンターテインメント部門



© 2015 Out One Disc

大賞

『正しい数の数え方』音楽劇

岸野 雄一 [日本]

子どもたちのための音楽劇であり、人形劇+演劇+アニメーション+演奏といった複数の表現で構成される、観客参加型のエンターテインメント・ショーです。展示室内に出現した芝居小屋で会期中毎日上演します。是非御参加ください。

※パフォーマンスの時間はフェスティバルサイトでご確認ください

優秀賞

ソ ラ ピン ポン

『Solar Pink Pong』インタラクティブインスタレーション、ストリートビデオゲーム

アソックリエ ション/デライト メディア ラボ

Assocreation / Daylight Media Lab [オーストリア]

ストリートとゲームの融合によってつくられた作品です。このゲームのプレイヤーは自らの身体と影を使って、路上を動くピンク色の太陽の反射光と遊ぶことができます。今回は展示室内で体験いただけます。

トーク・デモンストレーション会場：国立新美術館〔2階 企画展示室2E〕

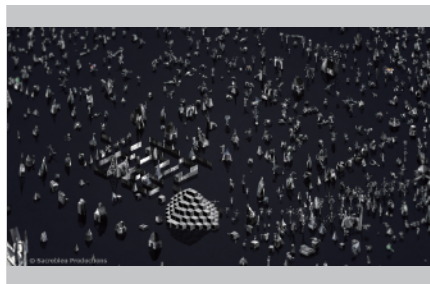
2月4日(木) 11:30～11:50



©2015 Assocreation and Daylight Media Lab
Photo: Assocreation



アニメーション部門



© Sacrebleu Productions

大賞

『Rhizome』 短編アニメーション

ボリス・ラベ

Boris LABBÉ [フランス]

圧倒的な緻密さと極端な構図で展開される短編アニメーション作品です。作品をじっくり鑑賞できる上映スペースを特別に展示室内に設置します。また2月3日(水)には他のアニメーション部門受賞作品とともに受賞者が登壇する上映トークを行います。

上映トク会場：国立新美術館〔3階 講堂〕 日時：2月3日(水) 15:15～17:30



© 2015 Typhoon Noruda Committee

新人賞

『台風のノルダ』 劇場アニメーション

新井 陽次郎 [日本]

今後が期待される注目の若手監督による劇場アニメーションです。制作環境のデジタル化に積極的に取り組んで効率化を図る一方で、手描きの質感を表現することも試みられています。TOHOシネマズ六本木ヒルズでの上映に加え、2月14日(日)には国立新美術館3階講堂で新井監督を招いたトークも開催します。

上映トク会場：国立新美術館〔3階 講堂〕 2月14日(日) 16:30～17:30

※上映スケジュールはフェスティバルサイトでご確認下さい。

マンガ部門



© Akiko HIGASHIMURA / SHUEISHA

大賞

『かくかくしかじか』

東村 アキコ [日本]

少女マンガ家を夢見ていた頃から、夢を叶えてマンガ家になるまでとその後の半生を題材にした自伝的作品です。本作を構成する直筆原稿(原画)や表紙の原画を特別展示します。さらに、ネームなど貴重な資料もあわせて展示し、本作の魅力、その世界観を御紹介します。



© TAGAME Gengoroh / Futabasha

優秀賞

『弟の夫』

田亀 源五郎 [日本]

同性婚をテーマに、一般社会のなかでのゲイを描いた作品です。海外でも高い評価を得ている作者による初の一般誌連載作品です。会場では、作者の制作過程も御紹介します。また、2月6日(土)には田亀氏の受賞トークを開催します。

トク会場：国立新美術館〔3階 研修室A・B〕 2月6日(土) 16:00～17:00(要事前申込み)

2. 上映 会場：TOHOシネマズ 六本木ヒルズ〔スクリーン4〕 **事前申込**、 国立新美術館〔3階 講堂〕

—アニメーション部門の受賞作品ほか、注目の映像作品を上映!—

アニメーション部門の受賞作品を中心に、注目の映像作品などを集めたメディア芸術祭の特別プログラムを上映します。さらに、受賞作家や監督が出演するトークイベントもあわせて開催します。

※上映スケジュール、申込み方法はフェスティバルサイトをご確認下さい。



3.マンガライブラリー 会場：国立新美術館〔2階 企画展示室2E〕

今年度の受賞・審査委員会推薦作品を読もう！

マンガライブラリーではマンガ部門の受賞作品、審査委員会推薦作品を自由に読むことができます。オンライン作品も閲覧いただけます。

4.関連イベント

パフォーマンス／トーク／シンポジウム／ワークショップ／鑑賞プログラムなど

※関連イベントには事前申込が必要なものと不要なものがあります。また、申込方法はプログラムによって異なります。詳細はフェスティバルサイト(<http://festival.j-mediaarts.jp>)で御確認ください。
※申込受付は1月19日(火)からフェスティバルサイト等にて開始します。

「ラウンジトーク&ライブパフォーマンス」事前申込

海外から来日する受賞作家も多数出演！

受賞作家のプレゼンテーションと作品の実演、パフォーマンス作品の公演を行う恒例のイベントシリーズ「ラウンジトーク&ライブパフォーマンス」を今年も実施します。国内の受賞者のみならず、海外からの受賞者のパフォーマンスも鑑賞できる貴重な機会です。お見逃しなく。

注目のイベント！

2/3(水) 19:00～22:30

「パフォーマンスびより」

受賞者たちによるトーク&パフォーマンスです。今年度のメディア芸術祭の受賞作品や審査委員会推薦作品のなかからライブパフォーマンスで選出された方々や審査委員が出演し、プレゼンテーション、トーク、ライブパフォーマンスを繰り広げます。

会場：スーパー・デラックス

定員：250名(事前申込制)

第1部

出演：Adam BASANTA(アート部門優秀賞『The sound of empty space』)
動いた。(エンターテインメント部門審査委員会推薦作品『DANCING PAPER』)
吉開 菜央(エンターテインメント部門新人賞『ほったまらびより』)

モデレーター：

工藤 健志(エンターテインメント部門審査委員／青森県立美術館学芸員)
米光 一成(エンターテインメント部門審査委員／ゲームデザイナー)

第2部

出演：Marc FLURY / Brian GIBSON(エンターテインメント部門優秀賞『Thumper』)
岸野 雄一(エンターテインメント部門大賞『正しい数の数え方』) 他

モデレーター：

飯田 和敏(エンターテインメント部門審査委員／ゲーム作家／立命館大学映像学部教授)
東泉 一郎(エンターテインメント部門審査委員／デザイナー／クリエイティブディレクター)

※一部、日英逐次通訳あり



昨年度開催「オルタナティブ・フューチャー」の様子



【シンポジウム】事前申込

受賞者によるプレゼンテーションや、 同時代の表現を読み解くテーマシンポジウムも開催！

国立新美術館3階講堂および研修室A・Bでは、会期中19回にわたって、シンポジウムや受賞者トーク、上映トークを開催します。功労賞受賞者のシンポジウムや、アーティストやマンガ家によるトークなど、ここでしか聞けない貴重な話題が盛りだくさんです。

【注目のイベント！】

2/6(土) 11:00～13:00

功労賞シンポジウム「テレビゲームの時代：世界へ羽ばたく日本のゲームとアニメーション」

ファミコンことファミリーコンピュータをはじめテレビゲームのハードウェア開発に携わられてきた上村雅之氏と、「アルプスの少女ハイジ」や「スーパーマリオブラザーズ」を手がけ、アニメーター、キャラクター・デザイナーとして幅広く活躍されてきた小田部羊一氏。今回功労賞を受賞した両氏が、これまでどのような活動をされてきたのかをお話しいただき、その功績を広く紹介します。

会場：国立新美術館〔3階 講堂〕

定員：250名（事前申込制）

出演：上村 雅之（功労賞／ハードウェア開発者／ビデオゲーム研究者）

小田部 羊一（功労賞／アニメーター／作画監督／キャラクター・デザイナー）

モデレーター：

飯田 和敏（エンターテインメント部門主査／ゲーム作家／立命館大学映像学部教授）

小出 正志（アニメーション部門主査／アニメーション研究者／東京造形大学教授）

すがや みつる（マンガ部門主査／マンガ家／京都精華大学教授）

【ワークショップ】事前申込

メディア芸術をもっと楽しむ・体験するワークショップ

プログラミングの仕組みに触れられるワークショップを開催します。

メディア芸術の中には、デジタル技術を使った作品がたくさんあります。一体どうやって動いているの？そんな疑問を解くきっかけが見つかるかもしれません。

【注目のイベント！】

2/7(日) ①10:30～11:30 ②12:00～13:00

未来を描いて動かそう！

ビケットでプログラミング体験

英語も数字も使わずに、絵だけでプログラミングができるツール「ビケット」を使用して、「2100年の未来の〇〇」を描いて動かします。（14:30～16:00は中学生まで対象のプログラムもあります。）

会場：国立新美術館〔2階 企画展示室2E〕

対象：5才～小学生

定員：参加者20名（事前申込制）※必ず保護者が同伴してください。

協力：デジタルポケット、一般社団法人タップタップラボ

※参加方法はフェスティバルサイトで御確認下さい。



参考画像



鑑賞プログラム

メディア芸術祭を"おしゃべりしながら"楽しもう!鑑賞プログラム

外国語が話せる、手話ができる、子ども好き、ITに詳しい等、様々な特長をもつコミュニケーターと一緒に、おしゃべりを楽しみながら展示作品のいくつかを鑑賞する「おしゃべり作品鑑賞～コミュニケーターと巡るメディア芸術祭～」を実施します。また展示作品について解説を聞きながら体験できるガイドツアーも実施します。

注目のイベント!

おしゃべり作品鑑賞～コミュニケーターと巡るメディア芸術祭～ **当日申込**

日程:2/6(土)、7(日)、8(月)、10(水)、11(木・祝)、12(金)

時間:①11:00～12:00 ②12:30～13:30 ③14:00～15:00 ④15:30～16:30

⑤18:00～19:00 ※2/12(金)のみ②～⑤、それ以外は①～④

会場:国立新美術館[2階 企画展示室2E]／対象:どなたでも／定員:各回5名程度

参加方法:当日の開始5分前に展示室入口で受付します。(先着順)

協力:アート・コミュニケーター東京、視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ、
一般社団法人タップタップラボ



昨年度実施「ガイドツアー」の様子

ガイドツアー[一般対象] **当日申込**

日時:2/5(金)、2/8(月)各日 11:00～12:00、2/12(金) 17:00～18:00

会場:国立新美術館[2階 企画展示室2E]／対象:中学生以上／定員:各回15名

参加方法:当日の午前10時から展示室内のインフォメーションカウンターにて受付します。(先着順)

インターネット配信番組「DOMMUNE」www.dommune.com

特別配信!文化庁長官も登場します!!

メディア芸術祭の開催にあわせ、審査委員でもある宇川直宏氏が主宰するインターネット配信番組「DOMMUNE」を特別配信。今回は、文化庁長官と若手女性作家らによるトークを開催。『わたしたちがいま長官と話してみたいこと』をテーマに日本の文化、アートの未来について語り合います。

注目のイベント!

2/8(月) 19:00～21:00

「わたしたちがいま文化庁長官と話してみたいこと」

出演:青柳 正規(文化庁長官)

ドリタ(クリエイティブディレクター/ウェブディレクター/デザイナー/第18回エンターテインメント部門新人賞、
平成27年度メディア芸術クリエイター育成事業採択)

安藤 僚子(空間デザイナー/第17回エンターテインメント部門優秀賞)

吉開 菜央(ダンサー/映像作家/第19回エンターテインメント部門新人賞)

鋤柄 真希子(アニメーション作家/第17回アニメーション部門優秀賞、平成27年度メディア芸術クリエイター育成事業採択)

問合せ先

文化庁メディア芸術祭事務局[CG-ARTS協会内] 〒104-0061 東京都中央区銀座1-8-16 3F

文化庁メディア芸術祭受賞作品展インフォメーション Tel:03-5459-4668 ※受付時間:9時～20時

文化庁メディア芸術祭 フェスティバルサイト <http://festival.j-mediaarts.jp/>

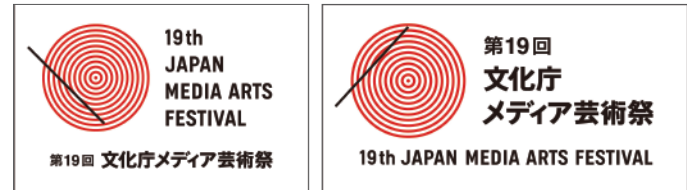
Facebook <http://www.facebook.com/JapanMediaArtsFestival>

Twitter <http://twitter.com/JMediaArtsFes>

平成27年度[第19回]文化庁メディア芸術祭
広報用素材貸出申請書

「第19回文化庁メディア芸術祭」広報用として、下記のデータを御用意しております。貸出を御希望の方は、こちらの申請書に必要事項と希望素材のアルファベットを○で囲み、文化庁メディア芸術祭事務局広報担当[hilo Press内]までお送り下さい。

[A] ロゴ式(zip) ※使用規定(pdf) 同封

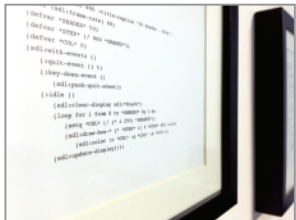


[B] ポスター・チラシ画像(zip)



[C] 広報画像(zip)・・・[第19回]文化庁メディア芸術祭受賞作品画像[1] - [4].jpg
昨年度[第18回]文化庁メディア芸術祭受賞作品展の様子[5] - [8].jpg ※使用規定(pdf) 同封

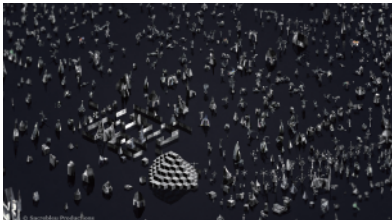
[1] アート部門大賞



[2] エンターテインメント部門大賞



[3] アニメーション部門大賞



[4] マンガ部門大賞



[1] 〈クレジット〉
©2015 Bryan Wai-ching CHUNG
〈キャプション〉
第19回文化庁メディア芸術祭
アート部門大賞
『50. Shades of Grey』
CHUNG Waiching Bryan

[2] 〈クレジット〉
©2015 Out One Disc
〈キャプション〉
第19回文化庁メディア芸術祭
エンターテインメント部門大賞
『正しい数の数え方』
岸野 雄一

[3] 〈クレジット〉
©Sacrebleu Productions
〈キャプション〉
第19回文化庁メディア芸術祭
アニメーション部門大賞
『Rhizome』
Boris LABBÉ

[4] 〈クレジット〉
©Akiko HIGASHIMURA/
SHUEISHA
〈キャプション〉
第19回文化庁メディア
芸術祭マンガ部門大賞
『かくかくしかじか』
東村 アキコ

[5]



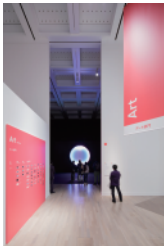
[6]



[7]



[8]



〈キャプション／[5] - [8]共通〉
昨年度[第18回]文化庁メディア芸術祭受賞作品展の様子 提供：文化庁メディア芸術祭事務局

<広報画像の御使用にあたって>

※広報画像の御使用は「第19回文化庁メディア芸術祭」を御紹介いただく場合に限らせていただきます。フェスティバル終了後は使用できません。
※広報画像[1] - [8]は全図で御使用ください。部分使用や作品に文字や他のイメージを重ねることはお控えください。
※指定クレジットを必ず御記載いただきますようお願いいたします。またキャプションを可能な限り御記載いただきますようお願いいたします。
※校正ゲラを広報担当までお送りください。

貴社についてお知らせください

○貴社名
○御担当者名 様
○御住所 〒
○Tel
○御掲載・放映の予定日 月 日

○媒体名
○所属部署
○Email
○Fax

<個人情報の取り扱いについて>

御記入いただきました個人情報は、文化庁メディア芸術祭広報からの情報配信や御案内など必要な御連絡にのみ使用いたします。許可なく第三者に個人情報を開示することはいたしません。

広報問合せ先

文化庁メディア芸術祭事務局 広報担当 [hilo Press 内] 鎌倉・土井・伊藤
Email：jmaf19-pr@hilopress.net Tel：03-5577-4792 Fax：03-6369-3596 ※受付時間：平日10時～18時
〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-18-11-905



第19回文化庁メディア芸術祭 報道関係者向け内覧会の御案内

日時：2月2日（火）13:30～15:00 会場：国立新美術館〔2F 企画展示室2E〕

謹啓 時下益々御健勝のことと御慶び申し上げます。

このたび、文化庁メディア芸術祭実行委員会は、「平成27年度〔第19回〕文化庁メディア芸術祭受賞作品展」を2016年2月3日（水）から2月14日（日）まで、東京・六本木の国立新美術館を中心に開催します。

今年度の文化庁メディア芸術祭には、アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門に、世界87の国と地域から4,417作品が寄せられました。受賞作品展では、作品の展示や上映、国内外の多彩なクリエイターやアーティストが集うシンポジウムやワークショップ等の様々なプログラムを通じて、受賞・審査委員会推薦作品、功労賞受賞者の功績等を紹介します。

つきましては、一般公開に先立ちまして、2月2日（火）13:30より、報道関係者向け内覧会を開催いたします。御多忙中とは存じますが、何卒御出席賜りますよう御案内申し上げます。

敬白

記

日 時 2016年2月2日（火）

13:15 受付開始

13:30 挨拶／受賞作品展概要説明

13:35 大賞・功労賞 受賞者紹介（フォトセッション）

13:40 アート部門 プレスツアー ～作品概要説明／受賞者紹介～

14:00 マンガ部門 プレスツアー ～作品概要説明／受賞者紹介～

14:20 エンターテインメント部門 プレスツアー ～作品概要説明／受賞者紹介～

14:40 功労賞 受賞者の御紹介

14:45 アニメーション部門 プレスツアー ～作品概要説明／受賞者紹介～

15:00 閉会

※各部門の受賞者の御紹介終了後も、個別に御取材いただけます。

出席者 別紙リストを御参照ください

会 場 国立新美術館（東京都六本木7-22-2）〔2F 企画展示室2E〕

・東京メトロ千代田線 乃木坂駅 青山霊園方面改札5出口から徒歩約1分

※当日は、休館日のため、6番出口（美術館直結）は御利用できません。

・都営地下鉄大江戸線 六本木駅 7出口から徒歩約4分

・東京メトロ日比谷線 六本木駅 4a出口から徒歩約5分

※御出席の場合、別途返信状に必要事項を御記入の上、1月29日（金）までに、FAXにて御返信ください。

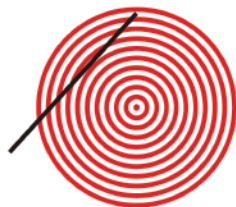
※駐車場はございませんので、御車での来館は御遠慮ください。

広報問合せ先

文化庁メディア芸術祭事務局 広報担当〔hilo Press内〕 鎌倉・土井・伊藤

Email: jmaf19-pr@hilopress.net Tel: 03-5577-4792 Fax: 03-6369-3596 ※受付時間：平日10時～18時

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-18-11-905



第19回
文化庁
メディア芸術祭

19th JAPAN MEDIA ARTS FESTIVAL

FAX:03-6369-3596

文化庁メディア芸術祭事務局 広報担当行

返信締切:2016年1月29日

報道関係者向け内覧会 返信状

■報道関係者向け内覧会

日時:2016年2月2日(火) 13:30~15:00(13:15~受付開始)

会場:国立新美術館[2階 企画展示室2E]

☐ 御出席

御欠席／資料・画像の請求

☐ 内覧会配布資料

☐ 画像:受賞作品()

☐ 画像:受賞作品展 会場

☐ 画像:贈呈式

貴紙・誌名／番組名／サイト名(URL):

貴社名／御所属:

御担当者名:

参加人数:

名

TEL:

FAX:

Email:

出版・放送・掲載予定日:

○撮影について ※撮影機材が多い場合は、下記広報担当まで御一報ください。

あり(ムービー・スチール)

なし

○インタビューについて

受賞者への個別取材、関係者へのインタビューなどを御希望の方は、下記概要を記載してください。

広報担当者より別途御連絡いたします。尚、御希望にそえない場合もございますので、御了承ください。

■取材希望日:

■取材希望プログラム: 月 日 時~[プログラム名:]

■取材希望日: 月 日 ~ 月 日(所要時間 分)※調整の上、受賞作品展前の取材も対応します。

■おおよその取材内容:

当返信状は、**1月29日(金)まで**に、FAXにて御返信ください。

広報問合せ先

文化庁メディア芸術祭事務局 広報担当[hilo Press内] 鎌倉・土井・伊藤

Email:jmaf19-pr@hilopress.net Tel:03-5577-4792 Fax:03-6369-3596 ※受付時間:平日10時~18時

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-18-11-905

<個人情報の取り扱いについて>

御記入いただきました方の個人情報は情報の提供のために利用いたします。また許可なく業務委託先以外の第三者に個人情報を開示することはありません。

第19回文化庁メディア芸術祭 報道関係者向け内覧会出席者(予定)リスト

No.	部門 Division	賞 Award	作品名／Title 作家名・受賞者名／Artist	出席
1	アート Art	大賞 Grand Prize	50 . Shades of Grey CHUNG Waiching Bryan	○
2		優秀賞 Excellence Award	The sound of empty space Adam BASANTA	○
3		優秀賞 Excellence Award	Ultraorbism Marcel·li ANTÚNEZ ROCA	○
4		優秀賞 Excellence Award	Wutbürger KASUGA (Andreas LUTZ / Christoph GRÜNBERGER)	○
5		優秀賞 Excellence Award	(不)可能な子供、01:朝子とモリガの場合 (Im)possible Baby, Case 01: Asako & Moriga 長谷川 愛 HASEGAWA Ai	○
6		新人賞 New Face Award	算道 Sando 山本 一彰 YAMAMOTO Takaaki	○
7		新人賞 New Face Award	Communication with the Future - The Petroglyphomat Ivan HENRIQUES	○
8		新人賞 New Face Award	Gill & Gill Louis-Jack HORTON-STEPHENS	○
9	エンター テインメント Entertainment	大賞 Grand Prize	正しい数の数え方 Best way for counting numbers 岸野 雄一 KISHINO Yuichi	○
10		優秀賞 Excellence Award	Dark Echo Jesse RINGROSE / Jason ENNIS	○
11		優秀賞 Excellence Award	Drawing Operations Unit: Generation 1 Sougwen CHUNG	○
12		優秀賞 Excellence Award	Solar Pink Pong Assocreation / Daylight Media Lab	○
13		優秀賞 Excellence Award	Thumper Marc FLURY / Brian GIBSON	○
14		新人賞 New Face Award	ほったまるびより hottamaru days 吉開 葉央 YOSHIGAI Nao	○
15		新人賞 New Face Award	Black Death Christian WERNER / Isabelle BUCKOW	○
16		新人賞 New Face Award	group_inou「EYE」 橋本 麦 / ノガミ カツキ HASHIMOTO Baku / NOGAMI Katsuki	○
17	アニメーション Animation	大賞 Grand Prize	Rhizome Boris LABBÉ	○
18		優秀賞 Excellence Award	花とアリス殺人事件 The Case of Hana & Alice 岩井 俊二 IWAI Shunji	○
19		優秀賞 Excellence Award	Isand (The Master) Riho UNT	○
20		優秀賞 Excellence Award	My Home NGUYEN Phuong Mai	○
21		優秀賞 Excellence Award	Yul and the Snake Gabriel HAREL	○
22		新人賞 New Face Award	台風のノルダ Typhoon Noruda 新井 陽次郎 ARAI Yojiro	○
23		新人賞 New Face Award	Chulyen, a Crow's tale Agnès PATRON / Cerise LOPEZ	○
24		新人賞 New Face Award	Doux Amis (Two Friends) Natalia CHERNYSHEVA	○
25	マンガ Manga	大賞 Grand Prize	かくかくしかじか Kakukaku shikajika (So-and-so, Such-and-such) 栗村 アキコ HIGASHIMURA Akiko	○
26		優秀賞 Excellence Award	淡島百景 Awajima hyakkei (A Hundred Scenes of AWAJIMA) 志村 貴子 SHIMURA Takako	—
27		優秀賞 Excellence Award	弟の夫 Otouto no otto (My Brother's Husband)A Chinese Life 田亀 源五郎 TAGAME Gengoroh	○
28		優秀賞 Excellence Award	機械仕掛けの愛 Kikai jikake no ai (Machinework Love) 栗田 良家 GODA Yoshiie	○
29		優秀賞 Excellence Award	Non-working City HO Tingfung	○
30		新人賞 New Face Award	エソラゴト esoragoto (Absurd Ideas) ネルノダイスキ nerunodaisuki	○
31		新人賞 New Face Award	たましい いっぱい Tamashii ippai (Lots of Life) おくやま ゆか OKUYAMA Yuka	○
32		新人賞 New Face Award	町田くんの世界 Machida-kun no sekai (The World of Machida-kun) 安藤 ゆき ANDO Yuki	○
33	功労賞 Special Achievement Award		飯村 隆彦(映像作家／批評家) IIMURA Takahiko (Film Director / Critic)	○
34			上村 雅之(ハードウェア開発者／ビデオゲーム研究者) UEMURA Masayuki (Hardware Developer / Video Game Researcher)	○
35			小田部 羊一(アニメーター／作画監督／キャラクター・デザイナー) KOTABE Yoichi (Animator / Supervising Animator / Character Designer)	○
36			清水 勲(漫画・風刺画研究家) SHIMIZU Isao (Cartoon and Comic Historian)	○